無題録

という感情的な症状が現れる場合がある。それが「春バテ」という。原因はいくつかある。まず激しい寒暖差。春は最高気温が乱高下する。日によって十度以上違う週もある。一日のうちの昼と夜の温度差も大きい。薄着になったのに急に寒く、気圧の変化も激しい。移動性高気圧が次々にやってくるために高気圧と低気圧が目まぐるしく入れ替わる。自律神経の切り替えがうまくいかなくなりがちなうえ、低気圧になると血中の酸素濃度が下がり、昼でも眠くなったり、だるくなったりが重なると精神的なダメージはより大きくなる。

○…寒暖差などで血圧が大きく変わることが繰り返されると血管に負荷がかかり、心筋梗塞や脳梗塞のリスクも高くなるというから「春バテ」をあまりなめてはいけないらしい。予防するには、まず、気圧の変化も激しい。眠の質に関しては夜、寝る一、二時間ほど前にぬるめの湯につかるのもいいらしい。「歓送迎会続きでバテ気味で」というのは春バテではなく、単なる飲み過ぎだ。

（S）

合流点

もう損得勘定を止めて　何が良いのか考えませんか弥彦村

来年の村長選挙、村長議員選挙まであと一年となり、今月の三月議会で再度競輪監査問題が話題となると思います。

ここで思いますに、競輪監査については、反対派といわれている議員五人が反対をする毎回の構図が繰り広げられています。いつまでも、このようなことを繰り返しても進歩がありませんので、「住民投票」でも「アンケート」でも実施し、村民の意見でも調査することで存在価値がある議員、村長ですが、損得勘定や次回の選挙などその他諸々考えて見ると実際「ト」の類は避けておきたい事案のひとつだと思います。

反対することで存在価値がある議員、賛成することで存在価値がある議員、村長ですが、損得勘定や次回の選挙などその他諸々考えて見ると実際に提案できることではないことは容易に想像できます。

議員も村長もみんな「自分が一番かわいい」「不本意に発言して票を減らしたくない」と思われるより、ここで来年の村長、村議選挙の前に「住民投票」「アンケート」でも実施したらよいかと思います。

古い話ですが、市町村合併問題のころでも合併に関して他の市町村では行われていた「住民意識調査」の類でも行うことのできなかった弥彦村です。住民の意見も調査することもなく勝手に強引に決めた村議会です。

記憶違いかもしれませんが、そのときにそのやり方に異を唱えたのは当時議長でした現職の最古参、花井議員しかいませんでした。

そのときの議員で現職は、赤川議員、武石議員ですが、そのやり方に賛成しました。武石議員も当時は国政選挙の街宣車に大谷前村長と当時副村長でした本多啓三議員と同調していたものです。

議員も損得勘定や考えも時代により変化してくることは自然であるが、温故知新と申しますか、次回の選挙は、その候補者が過去にどのような行動をとってきたかも知り、参考にしなければなりません。

競輪監査に関しましては村長も議員も「本当に住民のことを考えているなら住民意識調査」を行い「いつまでも対決することなく前進しなければならない」と思います。

住民の願いは村がよくなることです。村長も議員もそのことを忘れないでください。

最近の弥彦村議会での村長派と反対派の遺恨や中立といわれています花井、安達議員に何も文句があるわけではありませんが、巻原発の住民投票のように、確実に目に見えるものが大切かと思います。なにとぞ取り上げていただきたいと思います。

（弥彦村の無党派）

源泉掛け流し付き
お部屋プランが好評！
温泉三昧・寛ぎの宿
めんめん亭
わたや
TEL0256-82-0001

100%源泉掛け流し
全国的にも珍しい三本の源泉
天然自噴温泉
TEL0256-82-1126